

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. オープンイノベーションによる製品開発や生産性向上等に資する調達品の拡大
- b. 共通EDIシステム活用による業務精度向上ならびに効率化の更なる推進・支援
- c. サプライチェーン全体での付加価値の適正評価とコスト負担等の公平性の実現
- d. BCP/事業継続（取引先の災害時等の事業継続計画策定の助言）

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

- ・ 約束手形の利用の廃止に向けて、大企業間取引も含め、現金払いや電子記録債権への移行に取り組めます。
- ・ 「ホワイト物流」に関する「自主行動宣言」を表明済み
- ・ 「大同特殊鋼グループ人権方針」を制定
- ・ 「大同特殊鋼グループ調達方針」を制定

2026年2月4日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

大同特殊鋼株式会社

代表取締役社長 清水 哲也

(備考)

- ・ 本宣言は、(公財)全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・ 主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。